



かわにし

川西高等特別支援学校
学校だより 第4号
平成31年1月18日

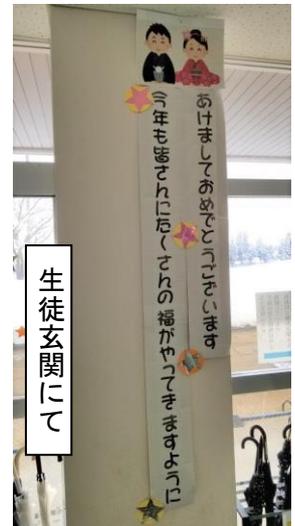
2019年の始まりにあたり

校長 水谷 武

私たちの川西高等特別支援学校にとって、昨年は特別な記念すべき1年でした。保護者や地域の皆様方からたくさんのご支援をいただき、無事、開校記念事業を終えることができました。おかげさまで、生徒たちは、普段の授業に加えて開校記念の取組を経験しながら、一步一步着実に歩みを進めることができました。今後ともよろしくお願いたします。

今年は新元号の年です。4月から5月にかけて大きな催しが予定されています。また、東京オリンピック・パラリンピック開催の前年ということで、何かと慌ただしくなるかもしれません。さらに本県では秋に、国内最大の文化の祭典、国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭が開催されます。いずれも普段では経験できることではありません。絶好のチャンスと捉え、今後の教育活動につなげたいと考えます。

まずは締めくくりの3学期です。私たち職員一同は、24人の3年生が、皆笑顔で社会に巣立って行くことを、そして、27人の1・2年生が、充実感をもって次の年度に向かうことを目指します。そのために、生徒一人一人が自己を肯定的に捉え、日々の活動に前向きに取り組むことができるように、これまでどおり、生徒への目配りや気配りに心掛けてまいります。どうかご家庭でも、お子様の言動をプラスの見方で評価し、言葉掛けをしてあげてください。今年も子どもたちの幸せを願いながら、互いに手を取り合っていきましょう。



今年もよろしく
お願いたします



【保護者の皆様へ】

先月、いじめ対策にかかわる県教育委員会による訪問指導がありました。その際に作成した資料「いじめに対する処置について（フローチャート）」を別紙としてお付けいたしましたのでご覧ください。なお、当校ホームページにも掲載してあります。

新年の誓い・今年の抱負

クリスマスや大晦日、お正月などちょっと心がうきうきするイベントが続いた冬休み、生徒たちはゆっくり休み3学期への鋭気を養えたでしょうか。新年を迎えフレッシュな気持ちで学校生活を過ごしてほしいと思います。生徒の新年の抱負や3学期の目標を紹介します。

新年の抱負 ～始業式より～

私はカフェ・バックヤード班です。ラッピングを練習しています。大きなトマトやにんにくのラッピングはしわができてしまいます。ラップをトレイの下まで巻き込んで、しわができないようにしたいです。検定では、A合格を目指して頑張りたいと思います。(1年生)

私は卒業後、介護施設で働きたいと思っています。そのために、体調管理をすることと介護の技術を身に付けたいです。学校での職業技能の他に介護福祉の資格を取れるように学習したいです。3月になると、3年生が卒業されるので、1,2年生みんなで協力して3年生の思いを引き継ぎステキな笑顔があふれる学校を作りあげたいと思います。(2年生)



3学期にがんばることは、給食を全部食べることです。(2年生)

今年は社会人になるので、忘れ物がないようにし、質問や報告を自分からできるようにしたいです。そのために学校では、指示を聞き、分からないことは質問し、作業で一区切りついたら報告することを頑張ります。(3年生)

現場実習ではいろいろな人とコミュニケーションを取れるようになりました。今年は、いろいろな人と仲良くなれるように笑顔で過ごします。(3年生)

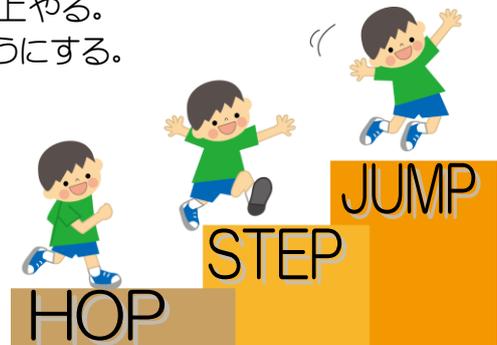
クラフト班で、仕事が終わったら大きな声で報告することを頑張ります。(3年生)

介護の授業を通じて、コミュニケーションも練習しました。4月から社会人として、会社の方とコミュニケーションを取りながら、仕事を頑張りたいと思います。(3年生)

3学期の目標

学期毎に学習、生活、進路、コミュニケーションに関わる目標を立て、学期末に振り返りを行います。学習や実習を通して見つけた自分の良さや課題と向き合う大切な時間です。

- ・困ったことや分からないことは職員さんに質問・報告・相談ができるようにする。
- ・チャレンジタイムの時に免許の勉強を1日1ページ以上やる。
- ・職業技能や学校生活で返事を聞こえる声でできるようにする。
- ・とっさのあいさつと質問ができるようにする。
- ・友達と先生方に笑顔で元気よくあいさつをします。
- ・毎日あいさつをする。
- ・みんなに手を振る。
- ・相手の考えを肯定して会話をする。
- ・バスに一人で乗れるようになる。
- ・バスに乗って「なごみの家」に行けるようになります。
- ・生活リズムを整えメディアの利用を見直す。(10時になったらやめる)
- ・たくさん漢字を書いて3年生になったら漢字検定4級合格します。
- ・いろいろな事に挑戦して、自分ができる事、できない事が分かるようになる。



後期の教育活動を振り返って



【ふれあいジョブ（1・2年生）、現場実習・校内実習（全年生）、進路校外学習（2年生）】

後期は全校生徒がふれあいジョブや現場実習に取り組みました。前期実習を踏まえて自分の目標を明確にして実習に臨み、その目標の達成に向けて頑張りました。特に、3年生は進路決定につながる大切な実習として、3週間の実習に取り組む姿は真剣そのものでした。また、2年生進路校外学習では、卒業後の生活を見据えグループホームやハローワーク十日町等の見学を行いました。



【社会生活・校外学習、生徒会役員選挙】

校外学習では、卒業後の生活で利用できるようになることをねらいとして、市役所、金融機関（銀行・郵便局等）、病院、自動車学校、総合体育館、公共交通機関等の利用の仕方を体験的に学びました。校外学習で学んだ内容は、社会生活の授業でお互いに発表し、ポスターにまとめました。

生徒会役員選挙に合わせて、実際の選挙での政党や候補者の選び方、投票の仕方などを学びました。



【文化祭PR活動、募金活動、上野小での清掃活動、地域イベントへの参加】

文化祭のPR活動として、カフェ・バックヤード班が千手中央コミセンでコーヒーの試飲とチラシの配布を行いました。近くの十日町市役所川西支所にも出張して、コーヒーを試飲していただきました。

生徒会の学習委員会を中心に赤い羽共同募金を行い、全校生徒や教職員に募金を呼び掛けました。

後期校内実習期間中の4日間、上野小学校で清掃活動をさせていただきました。廊下や窓の清掃など、依頼された箇所を心を込めてきれいに清掃してきました。

希望生徒を募り、まちなか×GAKUENSAI 2018に参加しました。紅茶パック作り体験や紅茶の試飲配布などを通して、地域のみなさんとふれあい、川西高等特別支援学校をPRしてきました。



【開校記念文化祭】
 ステージ発表では、グループに分かれて合奏と合唱を発表しました。また、職業技能班ごとの活動では、販売や接客、体験活動を通して、日々の学習の成果をお客様に披露しました。



【保健体育、美術、家庭生活】
 体育は、持久走、ダンス・ソーラン、球技等を行いました。体力の維持向上はもちろんのこと、体を動かす楽しさや仲間の動きに合わせる、仲間と協力するといった、他者との協働を体験できる内容を実施しました。仲間と活動を楽しみ、関わり合いが広がる姿が多く見られました。
 美術では、自分で好きな色の針金を選び、曲げたり巻いたりして、世界で一つだけのオリジナルのハンガーやペン立てを作りました。完成した作品は、校内に展示してみんなで鑑賞しました。
 家庭生活では、ジュース等に含まれる糖分量やカップラーメン等に含まれる塩分量、摂取カロリーを調べ、健康的な生活を送る上で「いい塩梅」の食生活について学びました。



【バス停指導・冬休み前指導】
 バス停指導は、毎月10日前後と午前放課の日に実施し、バス停でのマナーの向上や安全な乗降などを指導しています。
 冬休み前指導として、休業中の過ごし方や注意事項を全校で確認するとともに、個別に面談をしています。



【PTA 進路研修、公開授業研修、教育フェスタ】
 PTA 進路研修では、十日町・津南地域の企業や福祉施設の見学会を行いました。保護者、職員合わせて12名が参加し、実際の働く現場の雰囲気や就労に向けて必要な力、卒業後の生活の様子等について、理解を深めました。
 職員研修では、10月に公開授業研修を開催し、校外から21名の方の参加がありました。ワールド・カフェ形式の協議会では「深い学びとは」というテーマで話し合いました。また、新潟大学附属特別支援学校特別支援教育研究会、新潟地区と魚沼地区の特別支援教育研修会に多くの職員が参加し、日頃の授業実践等をまとめたポスターを計30編発表しました。